

## 「100さつ読んだで賞」～3年 M・Sさんが100冊読破～

図書室の本の貸し出し冊数について、3年1組のM・Sさんが2学期早々に100冊に到達しました。「物語」のジャンルが好きなM・Sさんは、休み時間に図書室に行ってコンスタントに本を借り続けています。

家庭では、宿題を終えてからリビングで借りてきた本を読んでいるそうです。生活のリズムの中に読書の習慣があるって、とてもいいことですね。

これまでの100冊読破者の統計をみると、平成30年度は全校で15名、令和元年度は28名、令和2年度も28名となっています。20%近くの北小っ子に、読書の習慣が定着していることがわかります。さて、今年度は何人の北小っ子が100冊読破を達成するでしょうか。

### この本どこにある？

#### 図書室でさがせ！

「9月の図書コーナー」には、3年生がおすすめする本の紹介カードが並べられています。

紹介されているおすすめの本は、図書室の棚に分類ごとに並んでいます。紹介カードを読んで興味をもった本を図書室で探してみてください。どこにあるかのヒントは、それぞれの紹介カードの裏面に書かれています。

#### おすすめの本

わたしがおすすめする本は、「消えた時間割」です。

クラスで配られた時間わりに、ぼくじゅうが飛びちった。気にしていなかったけど、月曜の体育、鉄ぼうがなくなった。

これって、ぐう然？そうとも言えない。だって、クラスでふしぎなことが起っている。

続きをぜひ読んでみてください。

3年1組 M・S

### 校庭にバスケットゴールを設置

#### ～運動遊びの機会を増やそう～

校庭の東側にバスケットボールの支柱が立っています。ボードとリングは老朽化したためにずい分前に撤去していたのですが、今年度新たにボードとリングを購入して、ゲームができるようにバスケットゴールを設置しました。

早速、5年生が休み時間にバスケットゴールを使ってゲームを楽しんでいました。コロナ禍の中で、身体を動かす機会も相当減っています。休み時間は互いに声を掛け合って、みんなで運動遊びに興じることができるといいですね。



ジャンプしてシュートを放つ5年生